

2015年3月3日

製粉ミュージアム本館 第24回BELCA賞（ベストリフォーム部門）受賞

日清製粉グループ（日清製粉グループ本社 社長：大枝 宏之）は、発祥の地・群馬県館林市の企業文化施設“製粉ミュージアム”の本館について、このたび建築関係において由緒ある“第24回（平成26年度）BELCA賞（ベストリフォーム部門）”を受賞しました。



製粉ミュージアム本館

■ BELCA 賞の概要

BELCA 賞は公益社団法人ロングライフビル推進協会（Building and Equipment Long-Life Cycle Association）が主催する、建築関係では大変栄誉ある賞で、“ロングライフ部門”と“ベストリフォーム部門”とがあり、毎年両部門併せて10件程度選定されます。

日清製粉グループでは、神田錦町本社ビルが平成11年度にベストリフォーム部門で、鶴見工場本館が平成14年度にロングライフ部門でそれぞれBELCA賞を受賞しており、製粉ミュージアム本館は3件目の受賞となります。

■ 製粉ミュージアム本館の概要

小麦と小麦粉をテーマにした製粉ミュージアムは世界的に見ても貴重な文化施設です。施設内の本館は明治創業期の1910年（明治43年）に移築された洋風木造建築物で、2012年11月に新たに開館した製粉ミュージアムのシンボルと位置づけられています。

移築後100年以上が経過し老朽化が進んでいたこともあり、創業110周年を迎えた2010年に記念プロジェクト化し、建物の壁面には耐震補強を施して内外装は全て往時の姿そのままに復元しました。また、建物の基礎面にはレトロフィット工法による最新の免震設備を配備しました。

老朽化対策の見地を踏まえ、現代の斬新な復元工法を用いて歴史的価値の高い建築物を蘇らせ、その建築的・歴史的・文化的意義を末永く後世に受け継ぐための貴重な施設に生まれ変わったことが高く評価され、今回の受賞に至りました。

■ “製粉ミュージアム” 施設概要

“製粉ミュージアム”は、小麦・小麦粉をテーマとして2012年11月にオープンした、世界的にも貴重な企業文化施設です。日清製粉グループの歴史を語る“本館”、先端技術を駆使した小麦粉づくりの今を伝える“新館”、寛ぎの“日本庭園”という3つの要素で成り立っています。

- ・ 名 称：製粉ミュージアム（Nisshin Milling Museum）
- ・ 所 在 地：群馬県館林市栄町6-1
（東武伊勢崎線「館林駅」西口下車すぐ）
- ・ 電 話：0276-71-2000
- ・ 開館時間：10:00～16:30（入館は16:00まで）
- ・ 休 館 日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日が休館日）、
年末年始等
- ・ 入 館 料：大人200円、小人（小・中学生）100円
- ・ 備 考：専用駐車場施設はございません。東武伊勢崎線館林駅東口の指定駐車場をご利用の方には駐車券サービスをご提供しています。詳しくは WEB サイト（<http://www.nisshin.com/museum/>）をご確認ください。



▲製粉ミュージアム外観

この件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先
株式会社日清製粉グループ本社 総務本部広報部 担当：堀野・寺岡
東京都千代田区神田錦町1-25 電話：03-5282-6650